全苗連だより

Ｖｏｌ．１４７（１２月号）
令和７年１２月１２日
発行：全国山林種苗協同組合連合会
Tel.03-3262-3071 Fax.03-3262-3074

令和７年度（第 64 回）農林水産祭式典において 岩手県山林種苗協同組合の吉田正平氏に内閣総理大臣賞の表彰が行われました

（写真）表彰された吉田夫妻

令和7年度(第64回)農林水産祭式典が、新嘗祭の日の 11 月 23 日(祝(勤労感謝の日))、明治神宮会館において、天皇杯、内閣総理大臣賞等三賞受賞者並びに農林水産大臣、各界代表者等を含めた多数の参加のもとに開催されました。

表彰者につきましては、去る10月２日に農林水産祭中央審査委員会(会長 伊藤房雄氏)が開催され、令和7年度(第64回)農林水産祭の天皇杯受賞者、内閣総理大臣賞受賞者、日本農林漁業振興会会長賞受賞者が決定されました。なお、天皇杯、内閣総理大臣賞及び日本農林漁業振興会会長賞は、過去1年間(令和6年7月から令和7年6月まで)の農林水産祭(※)参加表彰行事(276件)において、農林水産大臣賞を受賞した453点の中から決定されたものです。各賞は、農産・蚕糸部門、園芸部門、畜産部門、林産部門、水産部門、多角化経営部門、むらづくり部門の7部門に授与されました。また、女性の活躍が著しい2点に対して、内閣総理大臣賞と日本農林漁業振興会会長賞が授与されました。

(※)農林水産祭:国民の農林水産業と食に対する認識を深めるとともに、農林水産業者の技術改善及び経営発展の意欲を高めるため、農林水産省と公益財団法人日本農林漁業振興会の共催により昭和 37 年から実施されています。

吉田正平氏の受賞理由概要は次のとおりです。

【令和7年度内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要】

林産部門　　創意工夫による高品質な苗木の安定供給で地域を支える

○氏名又は名称　　吉田 正平
○所 在 地　　岩手県気仙郡住田町
○出 品 財　　技術・ほ場（苗ほ）
○受賞理由

・地域の概要

住田町は、岩手県南東部に位置し、森林面積は 88.8%を占める。同町を含む気仙地域は古くから「気仙スギ」の産地として知られ、「森林林業日本一の町」を目指している。

（写真）第64 回農林水産祭式典の模様

・受賞者の取組の経過と経営の現況

吉田氏は、平成9年に吉田樹苗の経営を引き継いだ。常時需要見込みより多めの生産計画を作成し、トラブルが生じても需要に応えられる経営を心掛けている。代々受け継いできた育苗技術に加え、県内外の苗木生産者を訪問して技術力の向上に努め、県内生産者として初めてスギの挿し穂による苗木生産に成功した。また、コンテナ苗木の生産に県内で初めて着手し、生産技術を確立させるなど県内コンテナ苗生産の第一人者として知られるようになった。積極的な設備投資、機械導入、さらに独自の技術開発により省力化と生産拡大を両立し、令和6年度はスギ及びカラマツのコンテナ苗を計 50 万本生産している。

・受賞者の特色

（1） 生産性や品質向上のための創意工夫

コンテナ苗木生産では従来2人で行っていた作業を1人で行える培土圧入機、 コンテナ苗木や培地を運搬するための乗用運搬車やフォークリフトなど、機械の改良や導入により生産性の向上を図っている。 また、苗木の移植のために自ら開発し意匠登録を取得した移植器により、幼苗の根がまっすぐに移植できるようになり、根が曲がった状態で移植することによる植栽後の成長不良等を改善している。

（2） 作業員の労働環境の改善

令和6年6月に作業拠点施設を建設し、建物1階にはエアコン、水洗トイレ、水分補給のための冷蔵庫を備えた作業員休憩所を設けている。また、作業員の希望に応じた勤務時間を設定するなど働きやすい勤務環境を整えるとともに、県の平均賃金を上回る賃金を支給し地域の雇用機会の創出に寄与している。

・普及性と今後の発展方向

後継者である息子への技術継承にとどまらず、県内外からの視察を積極的に受け入れ、技術・知識の共有や指導を行っている。また、高齢化が進み労働力不足が懸念される中、宿泊可能な作業員用施設を整備し、遠隔地出身者を雇用できる環境の整備を目指している。今後、引き続き作業員の幸福と生産

性向上の両立を追求するとともに、高品質な苗木の安定供給に尽力し、地域に根ざした苗木づくりに取り組んでいく。

（技術情報）

カラマツ等への苗畑における除草適用農薬にプロピザミド水和剤（農薬名：アダッシュ顆粒水和剤）の農薬登録の適用拡大が認められました

カラマツ用除草剤として広く使われてきましたクロルフタリム水和剤（農薬名「ダイヤメート水和剤」）については令和6年3月25日に農薬登録が失効したところです。

これに代わるものとして、本年、農薬メーカーから適用作物等の対象拡大（カラマツ等への苗畑における除草適用）のための審査依頼が農林水産省に申請されました。

この度、プロピザミド水和剤（農薬名：アダッシュ顆粒水和剤）の農薬登録の適用拡大が認められたところ（登録年月日：令和7年12月10日）ですのでお知らせします。

全苗連・苗組の行事予定

12 月 2 日　(独)勤労者退職金共済機構業務打合せ(全苗連事務室)

12 月 4 日　関東地区林業種苗需給連絡協議会(栃木県)(web)

12 月 18～19 日　四国地区林業用種苗需給連絡協議会(高知県)

【令和8年】

1月5日　賀詞交換会（日本林業協会）（航空会館）